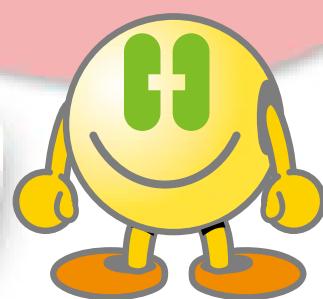


マルホンの

Hot

スマイル



卷頭特集

火と酸素



今年の夏はとても厳しい暑さになりました。皆さんいかがお過ごしでしたか。

やつと秋らしさを感じられる季節になりました。

酸素と火気

今回は酸素使用時の火気の取り扱いについてお話をさせていただきます。

これから冬にかけて、暖房など火気を使用する機会が増えています。酸素には燃えている物をさらに燃えやすくする性質（支燃性）があります。

僅かな火でも重大な事故に結び付いてしまう恐れがあります。日常生活での火気には、線香・ロウソク・ストーブ・ガスコンロ・タバコ・練炭こたつ・たき火などがあります。

延長チューブやカニューラなどに火がつかなければ大丈夫です。機器本体とチューブを移充填する時は5m以上離すようにしてください。

火氣から2m以上（液体酸素

事事故例

「今年一月に厚生労働省から在宅酸素療法実施中の患者で発生した火災による重篤な健康被害の事例」が発表されました。過去6年間で、27件の死亡又は重態事故がありました。その原因で一番多かったのが喫煙による火災でした。

した。カニューラをしたままで喫煙はタバコの火がチューブに近いため火災の原因となりやすく、とても危険です。実はマルホンの患者さんでも、あわや！という事故が起きています。①は今年の8月、原因是タバコです。チューブが燃えて畳の上を這つていった様子がわかります。患者さんは手に軽い火傷を負つてしましました。②は去年の3月、外で酸素を



(右)チューブが溶けて原型をとどめていません



(左)チューブが燃え、タタミが焦げてしましました

吸いながらサンダー（金属を研磨する工具、火花が飛び散る）をかけていたところ、カニューラに燃え移ってしまった事故です。共にあと少し消火が遅ければ患者さんの重篤な健康被害や火事に結びついてしまう事例でした。

再度のお願い

火は一度消えたはずでも再度点火することもあり、ひとたび火がつけばすごい勢いで燃え移る事もあります。どうしても火気を使用しなくてはならない時は、必ず酸素を止めカニューラを外してからにして下さい。

皆様には繰り返し火気に関するご注意をお願いしていますが、安全に、安心してご使用いただくためのものです。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



HOT患者さんの 療養生活での注意点

看護師 3学会合同認定呼吸療法士

古瀬笑子さん



私の仕事は、在宅医療機器を使用される患者様が快適に療養生活を送ることができるよう、療養環境の整備を支援することです。患者様のお宅で、問題点やお困りの点を伺い、改善のお手伝いをします。また、患者様の療養生活を医療機関に伝えたり、患者様の療養に関わる地域の福祉・介護関係の方々の支援も行っています。

その中で、患者様宅での酸素取り扱いなどに関して気づいた点や、日常生活で注意していただきたい点を幾つか挙げてみたいと思います。

主治医の先生から労作時の酸素吸入や24時間酸素吸入の処方がある方で、トイレやお風呂に入る際に酸素を外していく方が時折いらっしゃいます。人間の体は動く際に、より酸素

を使用する機会も増えるかと思います。酸素は燃焼を促進する性質があるので、近くに火気があると危険です。周囲2m以内は火気厳禁を守っていただくようお願ひいたします。

また、秋から冬にかけては感冒やインフルエンザなどが流行する時期となります。バラ

を必要とします。労作時や24時間の酸素吸入処方のある方は、酸素を吸入せずに動くことで心臓や他の臓器への負担が大きくなります。数メートル先のトイレ、入浴の際にもお忘れなく酸素吸入下さい。

体調の変化を把握するため、HOT日誌の活用をお奨めします

帝人在宅医療株さんとマルボンとは、HOT患者さまに安心して療養していただけるよう、様々な面で協力し合っています。

（編集委員会注）

皆様、これからも快適な療養生活を送ってください。

毎日のご自分の体調をチェックすることも大切です。毎日チェックすることでの体調の変化があつた場合に、すぐに気付く事が出来ます。



近くのながめ公園では10/24～11/23まで関東菊花大会が開催されます。一見の価値あります。

関東耶馬渓、とも讀えられる高津戸峠。新緑の頃から秋にかけて見頃で、とりわけ渡良瀬川两岸の紅葉が映える秋季の景観は見逃せません。

はねたき橋から高津戸峠までの500mの遊歩道には、川底のくぼみに落ち込んだ石が、水流によつて回転してできのた



みどり市から
こんなちば

地域紹介

病気を意識しすぎない

高橋一義さん



平成11年9月、51歳の健康診断で再検査を勧められました。その後、自覚症状がなかったのに放つていました。ところが、年齢の健康診断で再度指摘され、間質性肺炎と診断されました。病名告知と共に「この病気は治らない」と言われ、仕事で仕事をしていました。病気は治らぬことを変ショックを受けたことを覚えています。

平成14年7月に特発性間質性肺炎(特定疾患)の指定をされ、現在は利根中央病院で治療を受け、富岡先生に診ていただきたいです。在宅酸素は平成15年7年半になり、H.O.T.を始めます。当時、富岡先生から「在宅酸素は2種類あるけど、どちらも良いくらいで充填タイプを選びました。」とおっしゃるから、高橋さんは「在宅酸素を主に持つて、携帯酸素を保有する」といふことになりました。しかし、高橋さんは「このままでは、毎日酸素を吸っているので、酸素を吸いながら外出するのは格好悪いと思い、かなり抵抗がありました。」とおっしゃります。

このときも仕事を続けており、外に出ることが多かつたので、酸素を吸いながら外出するのは格好悪いと思い、かなり抵抗がありました。結局病気のため定年まで3年を残して退職しました。定年まで仕事を続けたかったので悔いは残るし、考えることで年を残して退職しました。でも時間と共に「薬で治療しても効果は半分、あとはいい」になるから、薬と、楽しむことを併用しようと考へ、退職して3ヶ月後に絵に取り組むことにしました。もともと絵を観ることは好きでした。



色の出し方など技術面もあるが、大事なことは絵に気持ちがかよっているかどうか - と語る高橋さん

日常生活ではあまり病気意識しないようにしていますが、もちろん食事や運動は無理をしないように気を付けます。もちろん食事や運動は無理をしないよう気を付けますが、意識しすぎて病気のこぼかり気にしてしまうと病気に縛られて何もできません。そこで酸素吸入しても絶対離してはダメ、とまでは決め対策をしないようにしていません。酸素吸入が負担に感じないようになります。それでも無理をしないように、これからも自然体でいきます。



インタビュー会場をお借りした
「アトリエ輝季」のオーナー様と

マルちゃんの安全ワシントン



(4ページに続きます)

こんなときの緊急対処法ですが、パッキンを裏返しにすると止まることがあります。

ボンベと圧力調整器との接続部には、パッキンが取り付けられています。小さな部品ですが、酸素が漏れないようにするために欠かすことができません。

今回はこのパッキンのトラブルの原因を2つご紹介します。ひとつ目は「劣化」です。長く使っているとゴム(ダイフロン)という材質が潰れて酸素の漏れが止まらなくなることがあります。

パッキン

How to HOT

こんな使い方あります!

ボンベリュック



リュック(小) リュック(大)

リュック(小) トを引いていると、片手が塞がつてしまつて杖や傘、ちょっととした荷物が持ちづらいと不便を感じられたことがあるかもしれません。

そういうった方に私は『ボンベリュック』を用意しています。両手が空くので、お出かけの際に、又作業をするときにも重宝です。また、カートを引つ張つて歩くことに抵抗をお持ちの方にもカニユーラが目立たなくなるので良いと思います。

大・小2種類の専用リュックがあります。

カートは平坦な道や立ち止まつているときには重さを感じませんが、リュックは常に背負つて使用するため、重さが難点になります。小で約3kg・大で約4kgです(ボンベ含む)。

お試しもできますので、担当者までお気軽にお声がけ下さい。

そういった方に私は『ボンベリュック』を用意しています。両手が空くので、お出かけの際に、又作業をするときにも重宝です。また、カートを

引つ張つて歩くことには重いと感じられます。

日頃ボンベカートを引いていると、片手が塞がつてしまつて杖や傘、ちょっととした荷物が持ちづらいと不便を感じられたことがあるかもしれません。

患者様に器械の説明をさせていただくと「器械は弱いんだよ」「すぐ忘れちゃうから」などと言われことがあります。初めて見る器械ですし、ボンベやデマンドなどもあるので、一度に全部覚えていくのは難しいと思います。忘れてしまつたり、不安に感じたときはいつも、何度も「相談下さい」。

皆様が安心して使っていただけるよう、更に一層、親切、丁寧を心掛けてまいりますのでよろしくお願い致します。

学生時代は生命工学を学び、遺伝子や細菌などの勉強をし、平成8年にマルホンに入社しました。入社以来在宅医療に携わっており、前橋・スイカの名産地です。

私は生まれも育ちも伊勢崎市(旧赤堀町)です。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、藤岡地区→東毛地区→西毛地区→吾妻・草津方面→前橋地区を担当し、現在は太田・館林地区を担当しています。ずっと群馬を飛び回っています。地理や道路にはずいぶん詳しくなりました。入社15年目ですが、それまで自宅で酸素吸入できるなんて知りませんでした。

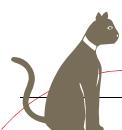
私は生まれも育ちも伊勢崎市(旧赤堀町)です。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、藤岡地区→東毛地区→西毛地区→吾妻・草津方面→前橋地区を担当し、現在は太田・館林地区を担当しています。ずっと群馬を飛び回っています。地理や道路にはずいぶん詳しくなりました。入社15年目ですが、それまで自宅で酸素吸入できるなんて知りませんでした。



菊池 博貴

マルホンの安全ワントップ

3ページのつづき



編集後記



(ハサミ端つぶつぶ)
(つまみ穴)とかあります。



もう一つはパッキンの紛失です。調整器を外したとき、パッキンが外れてしまうことがあります。こんなときは、下に落ちたり、外したボンベに貼り付いていることがあります。ボンベバッグの中や床を探してみて下さい。どちらの場合でも方法が見つからないときは、マルホンまで「連絡下さい」。

- 秋号からあらたに編集に参加させていただることになりました。しかし今年の夏の暑さにはまいりました。機械の点検やボンベ配達しているだけでも汗がながれおちタオルは必需品でした。暑い夏もいいですが、ほどほどに」と感じました。(さや)
- インタビューを快諾していただいた一義さんにこの場を借りて御礼申上げます。いろいろお話を聞かせていただけて嬉しかつたです。皆様のお宅でお話を聞くと、勉強になり、また嬉しいです。訪問時間は短いですが、少しでもコミュニケーションが取れたらと思います。(ゆ)
- 今年の夏は猛暑で大変でしたが、やつと過ごしやすい季節になつきました。秋は紅葉や花など色々と楽しめる事もあると思いますので、ボンベを持って外出して散策などしてみていかがでしょうか。(さと)